

肝疾患の相談センター・専門の医療機関 (R6.4現在)

- 石川県では、肝疾患の相談センターを設置し、専門的な診療が受けられる医療機関として、拠点病院と専門医療機関を下記のとおり指定しています。
- また、肝炎患者さんのサポートをするために関係者間の橋渡し役となる「肝炎医療コーディネーター」も養成しています。配置機関は県ホームページで確認できます。

▶ 肝疾患相談センター (金沢大学附属病院内)

治療や医療費に関することなど、肝炎のあらゆる相談に応じています。

電話：076-265-2244 (対応時間：平日8時半～16時半)

eメール：kan_en@m-kanazawa.jp

▶ 肝疾患診療連携拠点病院

金沢大学附属病院



▶ 肝疾患専門医療機関

市町名	医療機関名
金沢市	独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター
	石川県立中央病院
	金沢市立病院
	金沢赤十字病院
	石川県済生会金沢病院
	国家公務員共済組合連合会 北陸病院
	医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院
	独立行政法人 地域医療機能推進機構 金沢病院
公益社団法人石川勤労者医療協会 城北病院	
加賀市	加賀市医療センター
小松市	国民健康保険 小松市民病院
	医療法人社団 愛康会 小松ソフィア病院
能美市	特定医療法人社団 勝木会 やわたメディカルセンター
	医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院
白山市	公立松任石川中央病院
津幡町	公立河北中央病院
内灘町	金沢医科大学病院
七尾市	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院
	公立能登総合病院
羽咋市	公立羽咋病院
輪島市	市立輪島病院
能登町	公立宇出津総合病院



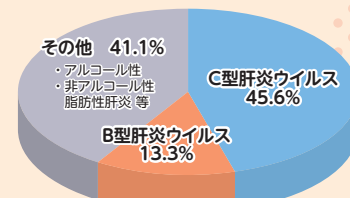
ウイルス性肝炎を 正しく理解しましょう



ウイルス性肝炎とは？

- 感染することにより、肝臓に炎症が起き、徐々に肝臓の働きが悪くなる病気です。B型・C型肝炎ウイルスによるものが多く、「国内最大級の感染症」と言われています。
- 肝臓は「沈黙の臓器」と言われるように、症状が出ないことがほとんどで、治療せずに**放置しておく**と、**肝硬変や肝がん**に進行する恐れがあります。
- 肝がんの原因の多くを占めていますが、**多くのキャリア(ウイルス保持者)が、感染の自覚がない**ことが問題視されています。
 - ▶ 国内のキャリア数は、B型が少なくとも約110万人、C型は約90万人いると推定されています。(令和元年度 厚生労働科学研究費補助金肝炎等克服政策研究事業 報告書(田中班)より)
- そのため、一生に1度は肝炎ウイルス検査を受ける必要があると言われています。
 - ▶ 現在では、日常生活で肝炎ウイルスに感染する機会はほとんどないと言われていますが、過去の不適切な医療行為による感染や、母子感染など、自覚なく感染している場合があるからです。

肝がんの原因内訳



出典：第23回全国原発性肝癌追跡調査報告 (2014-2015年)

感染する可能性のある行為は？

～偏見や差別をなくすためにも正しい理解を～

肝炎ウイルスに感染する可能性のある行為

血液・体液が体内に入る可能性の高い行為

- 刺し傷は肝臓病やHIVで重篤な感染症の原因となります。
- 医療従事者やみそり、歯ブラシ、ピアッサーなどを他人と共有することは避けましょう。

家族内・パートナー間などでの濃厚な接触
血液が付着している可能性のある物の共用

肝炎ウイルスに感染する可能性のない行為

血液・体液が体内に入る可能性の低い行為

- 清潔な(血液や体液がついていない)場所への接触・共有も大丈夫！
- 母子・ドアノブ・床
- 公共トイレ
- 筆記用具
- 食器

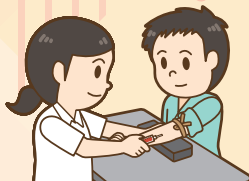
発行：令和6年4月 石川県健康福祉部健康推進課

住所：石川県金沢市鞍月1丁目1番地 TEL:076-225-1438

(日常生活の場でウイルス肝炎の伝播を防止するためのガイドラインより)

※B型肝炎にはワクチンがあり、H28年10月から0歳児を対象に定期接種が行われています。

肝炎ウイルス検査を受けましょう



- 感染しているかどうかは、「肝炎ウイルス検査(採血のみ)」で分かります。
- 現在では献血や妊婦健診、一部の職場でも肝炎ウイルス検査が行われていますが、過去に検査を受けたことがない方は、下記のとおり検査を受けることができます。
(感染直後では、身体の中にウイルスが存在しても、検査で発見できないことがあります。そのため、感染の機会から3ヶ月程度経過してから検査を受けるようにしましょう。)

実施機関	対象	費用	実施時期・予約先
市 町	40歳及び41歳以上の未受診者 (市町により異なる)	原則 無料 (市町により異なる)	市町により異なる
保 健 所	未受診者 又は 再検査の必要性のある者	無 料	通年・各保健所
委託医療機関	県内に居住する、 20歳以上の未受診者	無 料	通年・各委託医療機関

- ※ 未受診者とは、過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない者をいう。
- ※ 原則、市町や職場で肝炎ウイルス検査を受ける機会がある方については、そちらを優先する。

肝炎ウイルスに感染していることが分かったら

- **自覚症状がなくとも速やかに、肝疾患の拠点病院もしくは専門医療機関(→後述)を受診し、定期的な検査と、肝臓の状態に応じた適切な治療を受けることが重要です。**
注) 無症候性キャリアや、治療後(ウイルス排除後)の方も、原則定期検査が必要です。
- 近年では、画期的な飲み薬が開発され、かつての注射による治療法と比べ、劇的に副作用が軽減し、働きながらほとんど休まず治療をすることも可能になりました。特にC型肝炎は、飲み薬でウイルスの排除ができるようになるなど、肝炎の治療は目覚ましく進歩しています。



肝炎の主な治療法

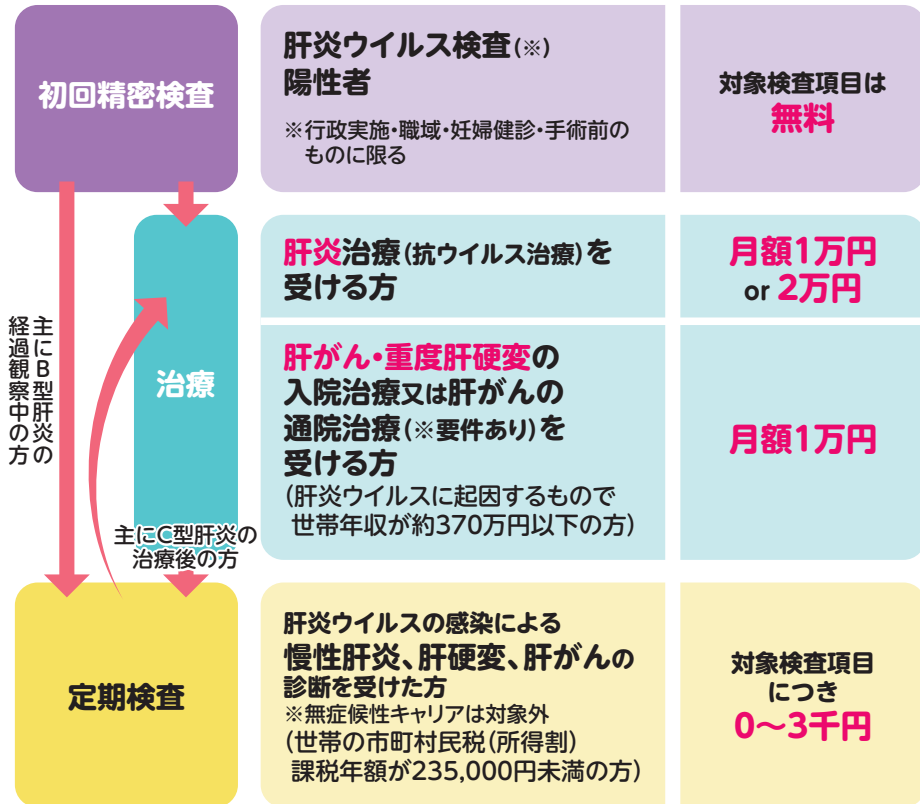
抗ウイルス療法

- **核酸アナログ製剤治療(飲み薬)**
B型肝炎に対する治療法で、ウイルスの増殖を抑える効果がある。ウイルス量が多い方など一部の方が対象で、原則継続して飲み続ける必要がある。
- **インターフェロンフリー治療(飲み薬)**
C型肝炎に対する治療法で、副作用が少なく、短い治療期間(8~12週)で95%以上の方がウイルス排除可能
- **インターフェロン治療(注射)**

肝庇護療法

肝臓の炎症を抑え、肝細胞の破壊のスピードを抑える治療法

肝炎の治療や検査に関する助成制度があります



※下記の方は、別途、国の給付金等が支給される場合があります(詳細は厚労省HP参照。無症候性キャリアは定期検査費用等も支給される場合あり)

- **B型肝炎**…7歳になるまでに、集団予防接種等(昭和23年7月1日~昭和63年1月27日までの間に限る)の際の注射器の連続使用により、B型肝炎ウイルスに感染した方と、その方から母子感染した方(これらの方々の相続人を含む)
- **C型肝炎**…出産や手術での大量出血などの際の特定フィブリノゲン製剤等の投与により、C型肝炎ウイルスに感染された方(既に治癒した方も含む)と、その方から母子感染した方(これらの方々の相続人を含む)

※詳しくは、県ホームページをご確認いただくか、申請窓口(県保健福祉センター、金沢市福祉健康センター)又は県健康推進課にお問い合わせください。

HPIは
こちらから

